

SSRI

ちよつと一言

Give me a break !

対北朝鮮で注目すべきは Ohio 級 SSGN

藤岡智和

緊張する北朝鮮情勢のなか、米国の B-1B や空母 3 隻の動きが毎日のように報じられているが、注目すべきは Ohio 級 SSGN の存在である。

米海軍は Trident SLBM 24 発を装備する Ohio 級 SSBN のうち、初期に建造された Ohio を含む 4 隻を Tomahawk を装備する SSGN に改装している。この 4 隻は Trident 発射管 22 基にそれぞれ Tomahawk 7 発ずつ、計 154 発を装備し、残りの 2 基のスペースを特殊部隊 SEALs 用に割り当てている。

米海軍が 4 月 4 日にシリアで行った Tomahawk による攻撃では駆逐艦 2 隻から合わせて 59 発発射され、1 隻あたり 30 発（1 発は不発射）発射された。駆逐艦には Mk 41 垂直発射機が 90~94 基あるが、それには対空や対潜ミサイルも装填されているため駆逐艦に搭載できる Tomahawk の数はこれが限界であろう。

こうしてみると SSGN 1 隻は駆逐艦 5 隻分の Tomahawk を搭載できることになり、Ohio 級 4 隻全てを投入すると駆逐艦 20 隻分の Tomahawk を発射できることになる。合わせて各艦にはビンラディン殺害で名をはせた SEALs が乗り込んでいるのであれば、北朝鮮にとっては B-1B や空母以上の脅威であろう。

(2017 年 11 月 3 日)